



2021年3月期第2四半期 決算説明会資料

2020年11月19日

東亜建設工業株式会社

目次

1 決算結果

1	2021年3月期 第2四半期決算結果	02
2	事業分野別 受注実績（単体）	03
3	事業分野別 売上高・損益実績（単体）	04

2 業績見通し

1	2021年3月期 業績見通し	05
2	事業分野別 受注見通し（単体）	06
3	事業分野別 売上高・損益見通し（単体）	07

3 2021年 3月期 上半期の主な受注工事の状況

4 最近のトピックス

1-1 2021年3月期 第2四半期決算結果

(単位：億円)

	2020年3月期 第2四半期		2021年3月期 第2四半期				対前期増減	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体
受注高	-	792	-		969	22.4%		177
売上高	838	805	826	△ 1.5%	790	△ 1.9%	△ 12	△ 14
売上総利益	89	79	84	△ 5.5%	73	△ 7.5%	△ 4	△ 5
売上総利益率	10.7%	9.9%	10.3%		9.3%		△ 0.4	△ 0.6
一般管理費	54	49	51	△ 5.1%	47	△ 4.6%	△ 2	△ 2
一般管理比率	6.5%	6.2%	6.3%		6.0%		△ 0.2	△ 0.2
営業利益	35	29	32	△ 6.2%	25	△ 12.4%	△ 2	△ 3
営業外収益	2	2	7	264.1%	7	260.8%	5	5
営業外費用	4	4	2	△ 33.6%	2	△ 33.4%	△ 1	△ 1
経常利益	32	27	37	14.8%	30	12.0%	4	3
特別利益	1	1	0	△ 88.3%	0	△ 88.3%	△ 1	△ 1
特別損失	2	2	0	△ 91.1%	0	△ 90.8%	△ 2	△ 2
税引前利益	32	26	37	17.6%	30	14.6%	5	3
四半期純利益	20	17	24	22.0%	20	17.4%	4	3
※連結は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」								
純資産	-	620	-		632	2.1%	-	12

業績数値

- 受注（東亜単体 969億円）
- 売上高（連結 826億円 単体 790億円）
東亜単体の売上高減少により、連結売上高も減少。
- 売上総利益
東亜単体の工事利益の減少により、前期比で減少。
- 販売費及び一般管理費
連結・単体とも、前期比で減少。
- 当期純利益（連結 24億円 単体 20億円）
連結・単体とも、前期比で増加。

注）資料全般にわたり、金額は億単位で表記しておりますが、前期比の％表示は（円単位）で計算しているため、率計算が合わない箇所がございます。

1-2 事業分野別 受注実績（単体）

（単位：億円）

受注高		2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	
		実績	実績	前期比
	官庁	307	449	46.2%
	民間	145	183	26.0%
国内土木 計		452	632	39.7%
	官庁	34	2	△92.8%
	民間	176	299	69.5%
国内建築 計		211	301	42.7%
国内 計		664	934	40.6%
	土木	103	8	△91.9%
	建築	0	2	832.6%
海外 計		103	10	△89.8%
	土木	556	640	15.2%
	建築	211	303	43.6%
建設事業 計		767	944	23.0%
開発事業等		24	25	3.1%
合 計		792	969	22.4%

受注高（969億円 前期比 22.4%）

■ 目標値 2,350億円。

国内土木（632億円、前期比 39.7%）

官庁土木は、複数の大型陸上工事の受注により、大幅増。
民間土木は、エネルギー関連や災害対策関連工事などの受注により、前期比増。

国内建築（301億円、前期比 42.7%）

官庁建築は、前期のPFI工事に替わる受注案件がなく、大幅減。
民間建築は、得意の冷凍冷蔵倉庫を始めとした物流関連の大型工事を複数受注し、前期比増。

海外（10億円、前期比 △89.8%）

新型コロナウイルス感染拡大による予定案件の下半期以降への延期などにより、大幅減。

1-3 事業分野別 売上高・損益実績（単体）

（単位：億円）

上段：売上高 下段：売上損益 利益率		2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期		
		実績	実績	前期比	
国内土木		446	424	△4.7%	
		51 11.5%	50 11.9%	△1.3%	0.4
国内建築		226	253	12.2%	
		23 10.5%	23 9.4%	△0.0%	△1.1
国内計		672	678	1.0%	
		75 11.2%	74 11.0%	△0.9%	△0.2
海外	土木	112	98	△12.7%	
	建築	8	0	△95.5%	
	売上計	120	98	△18.2%	
		5 4.3%	△9 △9.2%	- △13.5	
建設事業	土木	558	523	△6.3%	
	建築	234	254	8.5%	
	売上計	792	777	△2.0%	
	（原価差額等）	△4	6	-	
		75 9.6%	71 9.2%	△5.6%	△0.4
開発事業等		5	8	47.3%	
		1 18.2%	△0 △1.1%	- △19.3	
不動産等		6	4	△34.2%	
		2 37.5%	1 43.9%	△23.0%	6.4
合計		805	790	△1.9%	
		79 9.9%	73 9.3%	△7.5%	△0.6

売上高 790億円 前期比 △1.9%
売上損益 73億円 前期比 △7.5%

国内土木

売上高は、手持ち工事が順調に進捗するも前年同期の大型工事の反動減により、前期比減。
売上損益は、減収するも前期並みの利益率を確保し、前期比微減。

国内建築

売上高は、手持ち工事の大型工事の件数増加により、前期比増。
売上損益は、利益率が前期より低下したことにより、前期並み。

海外

売上高は、繰越工事は大幅に増加するも新型コロナウイルス感染拡大の影響による工事一時中断により、大幅減。
売上損益も、固定費負担と一部工事の採算悪化により大幅減。

原価差額等

前期計上した、一部の不採算工事に対する工事損失引当金の取り崩し等により、差益を計上。

2-1 2021年 3月期 業績見通し

(単位：億円)	2020年3月期		2021年3月期見通し				対前期増減		(参考数値) 2021年3月期見通し		6月発表通期見通し からの増減	
	① 実績		② 今回発表数値				②-①		③ 2020年6月 発表数値		②-③	
	連結	単体	連結	前期比	単体	前期比	連結	単体	連結	単体	連結	単体
受注高	-	2,076	-		2,350	13.2%		273	-	2,000		350
売上高	1,902	1,818	1,910	0.4%	1,840	1.2%	7	21	1,910	1,840	-	-
売上総利益	194	173	179	△ 7.8%	161	△ 7.2%	△ 15	△ 12	179	161	-	-
売上総利益率	10.2%	9.5%	9.4%		8.8%		△ 0.8	△ 0.7	9.4%	8.8%	-	-
一般管理費	114	104	111	△ 3.1%	101	△ 3.6%	△ 3	△ 3	111	101	-	-
一般管理比率	6.0%	5.8%	5.8%		5.5%		△ 0.2	△ 0.3	5.8%	5.5%	-	-
営業利益	79	68	68	△ 14.5%	60	△ 12.8%	△ 11	△ 8	68	60	-	-
営業外収益	3	3	8	108.2%	8	110.9%	4	4	8	8	-	-
営業外費用	7	6	7	△ 5.1%	7	1.2%	△ 0	0	7	7	-	-
経常利益	76	65	69	△ 9.3%	61	△ 7.1%	△ 7	△ 4	69	61	-	-
特別利益	3	3	0	△ 100.0%	0	△ 100.0%	△ 3	△ 3	0	0	-	-
特別損失	3	3	1	△ 72.7%	1	△ 71.4%	△ 2	△ 2	1	1	-	-
税引前利益	75	65	68	△ 10.2%	60	△ 8.4%	△ 7	△ 5	68	60	-	-
当期純利益 ※1	50	44	45	△ 10.1%	40	△ 10.2%	△ 5	△ 4	45	40	-	-

※1 連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」

※2 海外の工事中断については、個別に中断期間を想定している。

2-2 事業分野別 受注見通し（単体）

受注高 (単位：億円)		2020年3月期	2021年3月期 今回発表数値		(参考数値) 2021年3月期 2020年6月 発表数値	6月発表通期見通し からの増減
		①実績	②見通し	前期比	③見通し	②-③
	官庁	642	935	45.5%	665	270
	民間	221	284	28.6%	214	70
国内土木 計		864	1,220	41.2%	880	340
	官庁	45	50	8.8%	50	-
	民間	479	500	4.2%	500	-
国内建築 計		525	550	4.6%	550	-
国内 計		1,389	1,770	27.3%	1,430	340
	土木	656	548	△16.6%	548	-
	建築	0	2	-	2	-
海外 計		656	550	△16.3%	550	-
	土木	1,521	1,768	16.2%	1,428	340
	建築	525	552	5.0%	552	-
建設事業計		2,046	2,320	13.3%	1,980	340
開発事業等		29	30	1.4%	20	10
合 計		2,076	2,350	13.2%	2,000	350

2-3 事業分野別 売上高・損益見通し（単体）

上段：売上高 下段：売上損益 利益率 （単位：億円）		2020年3月期	2021年3月期 見通し 今回発表数値				（参考数値） 2021年3月期 2020年6月 発表数値	6月発表通期見通し からの増減
		①実績	②見通し	前期比			③見通し	②－③
国内土木		988	1,020	3.2%			990	30
		126 12.8%	111 10.9%	△11.6%	△ 1.9		104 10.6%	6 0.4
国内建築		493	550	11.4%			500	50
		46 9.5%	46 8.4%	△1.3%	△ 1.1		36 7.3%	9 1.1
国内計		1,482	1,570	5.9%			1,490	80
		173 11.7%	157 10.1%	△8.8%	△ 1.6		141 9.5%	16 0.6
海外	土木	279	238	△14.9%			318	△ 80
	建築	8	2	△77.3%			2	－
	売上計	288	240	△16.8%			320	△ 80
		6 2.4%	△ 7 △3.0%	－	△ 5.4		8 2.6%	△ 15 △ 5.5
建設事業	土木	1,268	1,258	△0.8%			1,308	△ 50
	建築	502	552	9.9%			502	50
	売上計	1,770	1,810	2.2%			1,810	－
	(原価差額等)	△ 20	△ 0	△96.7%			1	△ 1
		159 9.0%	150 8.3%	△5.9%	△ 0.7		151 8.3%	△ 0 △ 0.1
開発事業等		47	30	△37.3%			30	－
		13 29.2%	10 36.4%	△21.9%	7.2		9 33.3%	0 3.1
合計		1,818	1,840	1.2%			1,840	－
		173 9.5%	161 8.8%	△7.2%	△ 0.7		161 8.8%	－ 0.0

3 2021年 3月期 上半期の主な受注工事の状況

事業 区分	工事名	発注者名	施工形態	契約工期（自～至）	
国内土木	首都圏中央連絡自動車道 牛久高架橋（下部工）工事	東日本高速道路（株）関東支社	単独	2020年 8月	2023年 7月
	横浜港新本牧地区護岸（防波）南側海上地盤改良工事	国土交通省関東地方整備局	JV	2020年 7月	2022年 3月
	新本牧ふ頭建設工事（その16・外周護岸B-2地盤改良工）	横浜市	JV	2020年 9月	2022年 1月
	横浜港大黒地区岸壁（-12m）（改良）築造工事	国土交通省関東地方整備局	JV	2020年 9月	2022年 3月
	東北自動車道 菅生スマートインターチェンジ工事	東日本高速道路（株）東北支社	単独	2020年 6月	2022年 7月
国内建築	プロロジスパーク海老名2	南関東特定目的会社	単独	2020年 4月	2021年 8月
	（仮称）川西倉庫株式会社 京浜支店 ベイブリッジ営業所建設工事	川西倉庫（株）	単独	2020年 8月	2021年 9月
	（仮称）ヴェルディ中納言町新築工事	（株）信和不動産	単独	2020年 9月	2022年 6月
	（仮称）藤沢市辻堂1丁目計画新築工事	（株）モリモト	単独	2020年 9月	2022年 3月

4 最近のトピックス 【ESG経営】

中期経営計画の達成、および長期ビジョン「社会を支え、人と世界をつなぎ、未来を創る」の実現のため、「**ESG経営**」を実践します。

ESG経営基本方針

東亜建設工業グループは、E（環境）・S（社会）・G（ガバナンス）に関する社会的責任を果たし、持続的な企業価値向上を実現するためのESG経営を推進し、SDGsに貢献します。

東亜らしい
3つの
社会価値
の創造

1. 持続可能な自然環境のために環境負荷を低減する
施工および当社保有技術を通じて、温暖化対策および
生物環境の保護などに貢献します

E

2. 高度な技術により人々の「安心な生活」を支える
高度な建設技術により、持続可能性の高いインフラ整備、
防災対策、快適な都市環境整備に貢献します

S

3. 社会、社員との信頼を守る企業であり続ける
高度なガバナンス体制を構築することなどで、
社員が安心して働くことができ、社会からも信頼される
企業であることにより、社会的責任を果たします

S

G

4 最近のトピックス

東亜建設工業グループの事業において優先的に取り組むべき12の重要課題を特定しました（右図）。

これらの重要課題への取り組みによって**ESG経営**を推進し、主として9つの**SDGs**に貢献していきます。

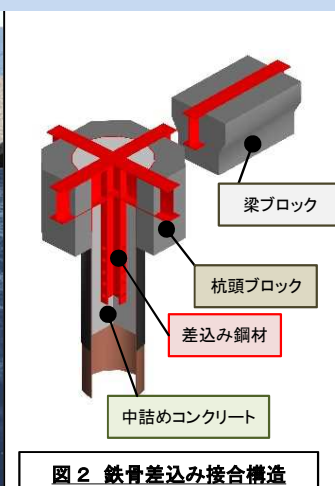
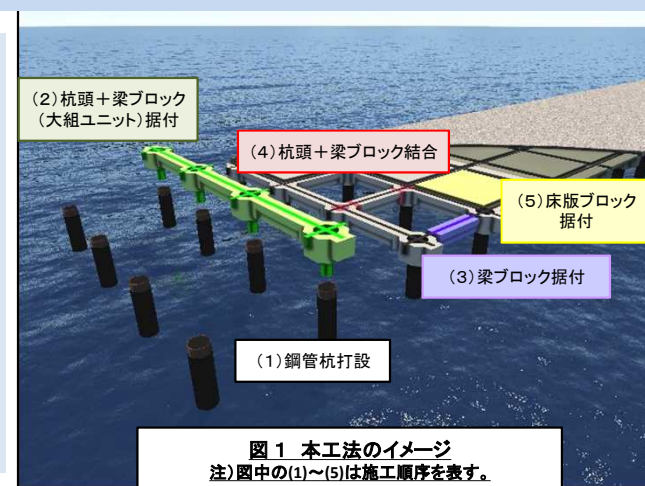
<主なSDGsへの貢献>

- 4. 質の高い教育をみんなに
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 7. エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8. 働きがいも 経済成長も
- 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 13. 気候変動に具体的な対策を
- 14. 海の豊かさを守ろう
- 16. 平和と公正をすべての人に



4 最近のトピックス 【東亜ESG／SDGs行動計画の具体例】

ESG	重要課題	行動計画の例
E	環境負荷の低減	● 洋上風力発電の施工を通じた再生可能エネルギー事業の普及への貢献
	●洋上風力発電所の建設を目的としたSEPの設計変更の実施 現在、大林組と共同で建造を進めているSEP（Self Elevating Platform：自己昇降式作業台船）について、国内洋上風力発電所プロジェクトの建設スケジュール見通しや、昨今大型化が進む風車市況の変化などを踏まえたうえで、主にクレーン能力を増強する設計変更を実施。	
	設計変更の内容 クレーンの能力の増強（1,000t→1,250t）、船体の補強	完成予定時期 2023年4月（予定）
S	インフラ整備を通じた社会への貢献と共生	● 災害から暮らしを守るための恒久的、持続可能性の高いインフラ整備への貢献
	品質の確保・向上	● ICTや新技術の活用による施工および施工管理の高度化の推進
	●プレキャスト栈橋上部工と鋼管杭の鉄骨差込み接合構造を開発 海上栈橋の上部工築造において、コンクリート工の大半の作業を海上ではなく陸上で行うプレキャスト施工に、港湾の海上栈橋では類のない“鉄骨差込み接合”を採用することにより、事前に海上作業で打ち込む鋼管杭の施工誤差を吸収できるため、施工の合理化や安全性の向上が可能。	



お問い合わせ先

〒163-1031

東京都新宿区西新宿 3-7-1

新宿パークタワー 31F

東亜建設工業株式会社

経営企画部広報室 北川 欽一

TEL : 03-6757-3821

FAX : 03-6757-3830

この資料には、現時点の将来に関する前提・見通しに基づく
予測が含まれております。

将来の業績は、経営環境等の変化にともない、
この資料に記載されている計画値とは異なる場合があることを
ご承知おきください。

